

新しい仲間と教育実習の先生がやって来ました

中学校に入学して2カ月以上経ちました。環境にもすっかり慣れて、クラスメイトと楽しそうに会話する姿や協力して給食の配膳をする姿、一生懸命授業に取り組む姿、目を輝かせて部活動に向かう姿など、皆さんの生き生きとした表情や姿を見て、毎日微笑ましく感じています。

さて、先日フィリピンから転入生がやってきました。所属している3組の生徒を中心に自分から話しかけたり、一緒に移動教室に行ったりと、積極的にコミュニケーションを図っている場面が多く見受けられます。学校で学んでいる英語を通じて、そして、お互いの言葉や文化を伝え合いながら、ともに成長していったほしいと思います。

また、16日(月)からは教育実習で3名の先生が来られており、美術科の田村先生は1年生と一緒に生活したり、授業を担当してくださったりしています。皆さんと一番年齢の近い“ひらなんの先輩”でもあるので、学ぶことや刺激をいただくこともたくさんあるはずです。7月4日(金)までの3週間、ぜひ自分からお話ししてみてください。

皆さん、初めまして！教育実習生の田村百人(たむらももと)です。担当教科は美術です。先日の朝集会で自己紹介はしたので、皆さんと仲良くなるために、まだ言っていない僕のプロフィールを紹介しようと思います。中学生の頃は卓球部に入っていました。現在大学では、軽音部とヒーローショーをする特殊造形部という部活に入っています！趣味はギターとベースを弾くことで、漫画を描くことも大好きです。どしどし話しかけてください。僕からも話しかけます！



大阪・関西万博に行った感想の紹介

◎会場では、特に commons 館に行ったときに、各パビリオンの入り口に SDGs の表示が入った旗がありました。「自分たちは今、目標に対してこのくらい進んでいるんだ」とお互いに確認し合っているのかなと思いました。また、よしもとのパビリオンに見学に行ったとき、しゃべらずに動きで伝えあう「ノンバーバルコミュニケーション」があり、それがあれば、耳が聞こえなくても、漫才や芝居を楽しむことができるということを学びました。(1組 Iさん)



◎見学をして考えたことは、これらのシステムや技術が、今後自分たちの日常に加わってくると考えたときに、一体どういう世の中になるんだろうなということです。学んだことは、世界のそれぞれにその国の象徴ともいえるものがあるということで、「この国はこんな感じなんだな～」と分かるようになりました。(1組 Tさん)

◎ほんとに色々なものが「未来！」みたいな感じがして面白かったし、こんな風に早くならないかなととても思いました。また、色々なパビリオンに行き、その国のことについて学べたのでとてもよかったです。班別行動ではしっかりとみんなで行動でき、楽しく安全に帰宅できたのもよかったです。(2組 Yさん)

◎自動の車が増えると、地球温暖化以外に事故防止や渋滞が減ることを知りました。また、commons 館では、さまざまな国を見て全然違ったし、何を大切にしているかとか、人はどんな人がいるかなどもわかりました。迷子になったり、一人で行動する人がいたりしたのは反省点だけど、みんな楽しく仲良く協力して行動できたのは良かったです。(2組 Iさん)

◎未来の新技术の中でも、特に「今ある資源を大切に、そして生み出せるエネルギーを有効的に」という環境に配慮したものを重視しました。「未来の都市」では、風力と太陽光を一つのものにした発電装置や水素をつくることのできる船など、今は様々なアイデアで未来を創っているとわかりました。(3組 Nさん)

◎今、問題視されている地球温暖化を止めるためのCO2を減らす技術을展示したパビリオンが多かったです。もし、CO2をエネルギーにする技術がいろんな国に伝わったら、少しずつ火力発電を廃止したり、電気自動車を増やしたり、石油などに頼らない(限りある資源を使わない)ようにしていったら、持続可能な社会ができると思いました。光合成だけではだめなので、CO2を減らす技術が必要なんだと考えました。(3組 Gさん)

◎いろいろな国によって考え方が違うということや、達成できていない SDGs の目標が国によって違うこと、それらを達成できるように協力していくことが大切だということを学びました。電車内では静かに過ごせたり、班行動も意識して班の迷惑にならないよう1日を過ごしました。(4組 Hさん)

◎自動車は電気自動車で環境に優しくなったけど、船は風で動かすという取り組みも環境に優しいと思いました。また、土の中の微生物を発電できることは初めて知り、すごいなと思いました。今回、万博に行き、人は地球のことを考えて生活していかないといけないと再び思いました。(4組 Tさん)



初★校外学習
楽しかった〜！